



足助中学校だより
令和7年10月6日(月)
第7号



◆同窓会文化事業「ボリビア・フルクローレコンサート」◆

9月10日(水)の学校公開日に併せ、足助中学校同窓会主催の同窓会文化事業が行われました。この事業は、中学生のうちに本物の芸術や音楽を味わわせてあげたいという同窓会の趣旨により、開催していただいている。3年ぶりとなった今回は、豊田法人会のご後援もいただき、ボリビアやペルーの民族音楽「フルクローレ」演奏家の木下尊惇さんとイリチ・モンテシノスさんをお招きして演奏を聴きました。高木伸泰同窓会長のご挨拶の後、約1時間、本場のフルクローレの演奏を楽しみました。美しい演奏とともに、ボリビアやペルーの気候や歴史、食べ物などを紹介していただき、生徒たちは異国の風土や文化について興味深く聞いていました。フルクローレの代表曲「コンドルは飛んでいく」は、教員や保護者や同窓会の方々、参加した大人にも懐かしく、心に響くものがありました。コンサートの終盤には、木下さんの掛け声に合わせて、手拍子やかかとを鳴らしたりして体でリズムをとりながら音楽を楽しみました。大変貴重な機会となりました。

たくさん初めて聞く曲があってとてもわくわくするコンサートでした。どの楽器も音の交じり合った豊かな良い音色で時間を忘れてしまうような演奏でした。特に気に入ったのは茶色の太い縦笛で、低い音の上に聞こえるかすれたような音色がコンドルの曲にぴったりで感動しました。知らない土地の素晴らしい文化と歴史をする機会になりました。南米のことについて興味が出たのでたくさん知って、一度は必ず行ってみたいと思いました。(3年男子)



イリチさんと木下さん



手や足を使ってリズムをとっています



同窓会、法人会の皆さんと

◆学校保健委員会◆上手にストレスと付き合っていますか？

10月1日(火)に学校保健委員会が開催しました。今年度は「ストレスの対処法」について学びました。保健・給食委員によるアンケート結果の発表では、足中生の半数以上が、ストレスが高いということが分かりました。また、ストレスにうまく対処することが苦手な子も多いようです。父母教師会福祉厚生部会長さんからアンケート結果の感想をお話しいただきました。その後、講師のヨガインストラクターの先生からストレス対処法の1つとして、ヨガを教えていただきました。普段あまり意識しない呼吸法や体ほぐし、ストレッチをして体が軽くなったり、すっきりした気持ちになった生徒も多かったようです。



◆足中祭に向けて◆

足中祭まであと3週間。合唱コンクールに向けて、9月から朝や自活の時間を使った練習が始まっています。教室から聞こえる学級の歌声にも、学級の思いが高まるとともにだんだんとまとまりが出てきているように感じます。先週は、審査員の先生から直接合唱指導をしていただきました。

足中祭準備期間開始となる10月9日からは本格的に縦割りのスタッフごとの活動が始まります。本番だけでなく、こうした準備期間も仲間とかかわり、絆を深める大切な時間です。

そして、今年も、夏の間から公務手さんと校内整備員さんが草刈りをしてくださり、運動場の準備も万端です。子どもたちの活動のため、多くの方々にお支えていただいていることに感謝しております。